



職業病根絶に「歩みを止めるな！」 全国労職部会 第23回総会

7月29日に、全国労災職業部会『第23回総会』が開催されました。各県代表、部会幹事、傍聴者など合わせて60名の出席でしたが、コロナ禍でズームでの出席が47名で、2年連続でズームでの開催となりました。



総会は、石田部会長の挨拶で始まり、連帯のあいさつでは角田季代子委員長・佐藤陵一根絶闘争本部長・黒川三郎原告団長・石川フミ子家族会副会長が挨拶しました。

議案提案に入り、福富事務局長から『2020年度経過報告・会計報告』が行われ、会計監査から『監査報告』がなされ、につづいて『2021年度活動方針・会計予算案』の提案がありました。

午後からの質疑・討論では、13名の発言があり分会からは松原委員長が、組織拡大の苦労話を交えて発言しました。提案された議案はすべて採択され、新たな方針と、新役員体制が確立し、総会スローガンの確認と、団結頑張ろうで終了しました。
・・・松原義弘・・・

分会代表で出席した松原委員長の感想

初めてのズーム参加でしたが、会議内容や発言も画面越しに見聞き出来て、まったく違和感ありませんでした。現地での参加より身近で理解しやすいと思いました。経費節減からも、これからの会議の在り方かと思いました。

今年は千羽鶴になって集まってきた！ 6千羽 みんなの願い届けて

7月28日、久しぶりの分会会議をおこないました。今まで折りためた折り鶴が、次々と集まってきた。中にはちゃんと糸に通して千羽鶴にまとめられているものが4千羽、これまでに集まった鶴で、あらかじめ千羽鶴にしたのが2千羽、これから糸で繋ぐバラの鶴が千羽ほどあります。今年の世界大会に、分会からすでに2千羽を広島に送ってありましたから、これは来年になりそうです。

組合員のみなさん！そして家族のみなさん！ご協力いただき本当にありがとうございます。



分会会議参加者と折り鶴の記念写真

千羽鶴に託すみんなの願い

- ① コロナが終息して、安心してみんなに逢いたい。
- ② 新型コロナが一日も早く終息して、日常生活が取り戻せることを望みます。
- ③ 自由に食事に行ったり、旅行に出掛けたりしたい。早くしないと命に期限がある。
- ④ 1日も早くコロナが終息しますように。
- ⑤ 今の、日本の政治は何とかならないかなあ〜。こんな時、国民の命と生活を守ってくれなければ…沢山の税金を払ってきたのに。
- ⑥ コロナの終息と平和であって欲しい。
- ⑦ 安心して生きられる社会であるよう願います。
*まだまだ、たくさんの願いが届きましたが、掲載できなかった方、お許してください。



私の戦争体験 満州でむかえた終戦

私の父は国鉄に勤務していて、その頃、満州の満鉄（南満州鉄道株式会社）で働く希望者を募っていました。そこで私の2歳の時、父母と兄・姉2人の6人で満州に渡りました。



奉天（瀋陽）の満鉄社宅に入り、半年ほどして母が奉天の病院で亡くなりました。その半年後、奉天から5～6時間の所にある山城鎮（四平市海竜県）という田舎に移り、終戦まで過ごしました。

治安が悪く泥棒が多いためか、社宅の周囲は鉄線が張り巡らされ、高さ2～3mもの塀になっていて3か所の出入り口がありました。社宅は煉瓦造りで平屋6軒が1棟となっていて、10棟ほど並び、窓は2重ガラスで鉄格子が入っていました。

中国人は大変良くしてくれるし、満州の土地は肥えていて、何でもよく育ったので食べ物に困ることはありませんでした。

私が5年生の時、終戦となりました。途端に情勢は変わり、敗戦の放送が流れた翌日には、銀行で貯金を下ろすことが出来ず、満鉄は解散、中国人が日本人の家を壊し略奪にきました。それも100人程の集団でやって来て、学校が襲撃され校長先生が殺されました。あちこちでアリのたかっているような襲撃現場を目にし、いつ自分たちも襲われるかと緊張の連続でした。日本人が集まり、葫蘆島（ころとう）行きの貨車に乗るため、知らない駅に向かってひたすら歩きました。途中で中国人やロシア人から持ち物をすべて盗られ、亡くなった人が至る所で、物のように転がっているのを目にしました。

9月の予定

- 7日 県本部 第236回執行委員会→9/12
- 12日 県本部 第23回定期大会→10/3
- 15日 北信越労職合同支部第18回大会
- 16日 三井神岡鉱山訴訟判決
- 22日 第3回分会会議

ご案内

- ※ 第3回分会会議 9月22日（水）
瀬戸市文化センター 11会議室
 - ※ 第4分回会会議 11月17日（水）
瀬戸市文化センター 11会議室
 - ※ 第18分会大会 11月30日（水）
瀬戸市文化センター 12会議室
- コロナ感染状況で変更する場合があります。

るのを目にしました。葫蘆島から貨物船に乗り、1週間後の7月に舞鶴港に着きましたが、その時、それまでの緊張が解けていきました。

その後、日本でも苦難の連続でした。あの頃の忍耐と体力があれば、どんなことでも耐えられると思うほどの苦しみを味わってきましたが、あの頃体験したことは、人に話すことなどできないと思っていました。しかし、生い先短い身となって「戦争を知らない人たちに伝えたい」という思いが強くなり文字にしてみました。（匿名）

※猛威を振るうコロナに気を付けて！

新型コロナ感染急拡大が止まりません。どんどん身近に、我がこととなっています。今度の変異株（デルタ株）は、今までよりはるかに感染力が強いので、マスクも不織布のものに。人の多い場所では二重にした方が良いでしょう。ワクチン接種しているから大丈夫…などと思わないで気を付けましょう。

※戦争体験募集中

あなたの戦争体験を書いて送って下さい。

組合員数 ☆認定組合員数 **28**人

☆組合員総数 **29**人

訃報 8月18日、船越和之さんが逝去されました。心からご冥福をお祈り致します。

